## 2019年度 福祉助成金 (活動助成) 成果報告書

提出用

## 公益財団法人 橋本財団 理事長 橋本 俊明 様

2020年 5月 25日

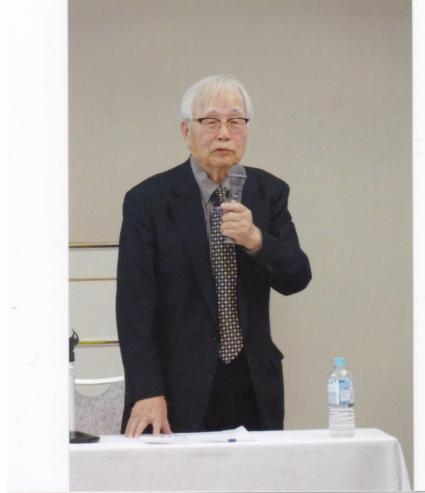
	1			2020年 3月 23日	
ふりがな	すぴーかーず・びゅーろーおかやま				
団体名	スピーカーズ・ビューロー岡山				
代表者名	役職名	会長	氏名	米山晴巳	
連絡先	住所	岡山市北区岩田町 5-20			
	TEL	086-225-0873			
	E-mail	still-1963@citrus.ocn.ne.jp			
	URL				
設立年 (西暦)	2004年				
主な活動	心の病気や障害に対する偏見や差別を解消するための講演活動。 機関誌の発行。 会員同士の交流会。				
活動の対象者	一般市民、医療福祉関係者、学生。				
助成活動名	精神障害に対する普及啓発活動				
助成額	341,280 円				
実施内容	目的 内容 果	精神障害に対する偏見除去、普及啓発  2019.11. 3、スピーカーズ・ビューロー岡山設立 15 周年記念講演会(元こらーる岡山診療所所長、山本昌知先生を講師として開催)と、会員(当事者)による座談会を開催。 場所はピュアリティまきび。参加人数 101 名(一般市民、医療福祉関係者、当事者、学生、ご家族)講演演題「体験を生かす」座談会テーマ「心の病が気づかせてくれた大切なこと」ボランティア参加 8 名、当団体スタッフ 8 名。記念誌、記念品(クリアファイル)を作成、配布。 当初、70 名程度の集客を想定していたが、100 名を超える来場があり、当団体の成り立ちや、活動について知っていただくことができた。支援者のいない中、当事者が全て中心となり、講演会を開催できた。これにより、当事者は活動に対して大きく自信が持てるようになり、自尊心の回復に役立った。この講演会がきっかけでネットワークができたご家族の方もおり、地域で孤立しがちな精神障害者をサポートできたと考える。			
今後の課題と対 応策	今後は幅広く活動をしていけるように、普及啓発に必要なパンフレットや、小冊子を活用しながら一般市民や学生に対してアプローチしていきたい。 職場でのメンタルヘルスも大事になってきているので、一般市民に活動を知っていただき、普及啓発していくことが課題である。				

## 参加者・利用者 の感想など

統合失調症をはじめとする精神疾患について、どんなに机上で学んでも理解できなかった ことが、当事者の話を聴くことで少しずつではあるが、理解できるようになった。

心の病を持っていても、自信をもって堂々と発表する姿に感動した。

山本先生の講演にあったように、ありのままの自分で良いと認めることが大切だと感じた。



写真の提出

